



明日、午前10時に
お迎えにまいります

あいさん、
本日もお疲れ様でした

うん

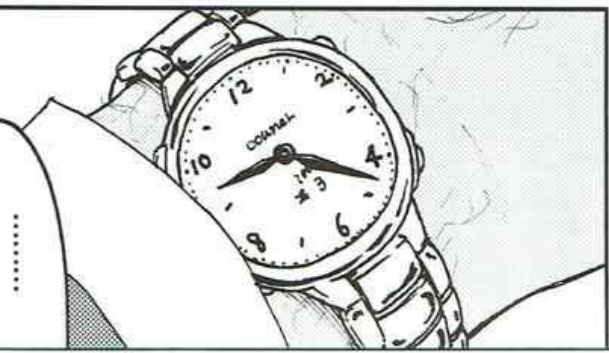


では、おやすみ

はっ お休みなさい



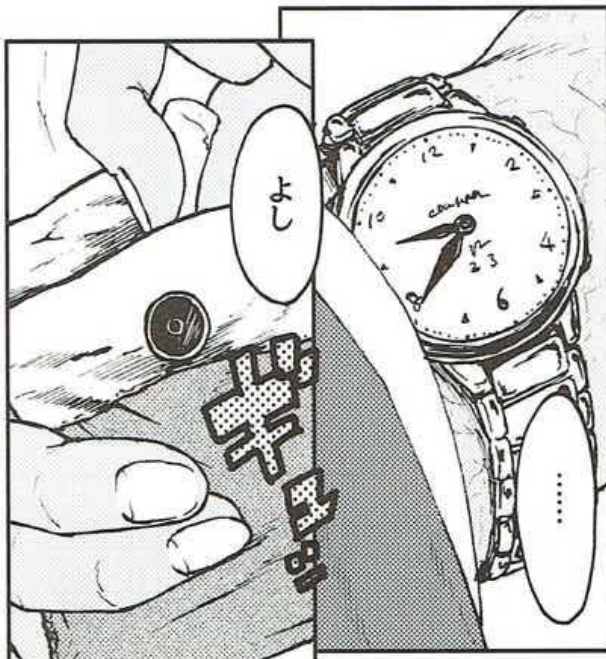
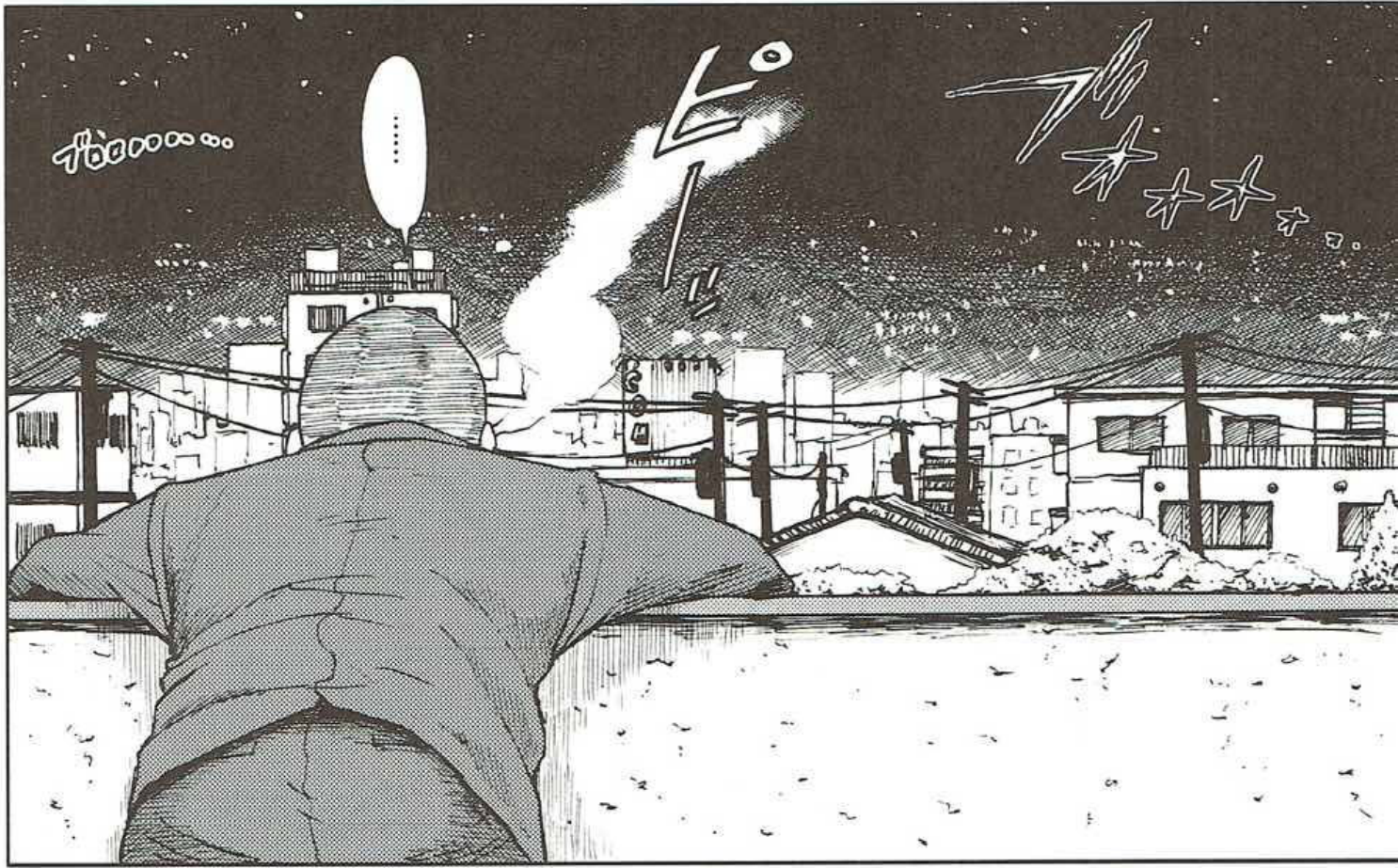
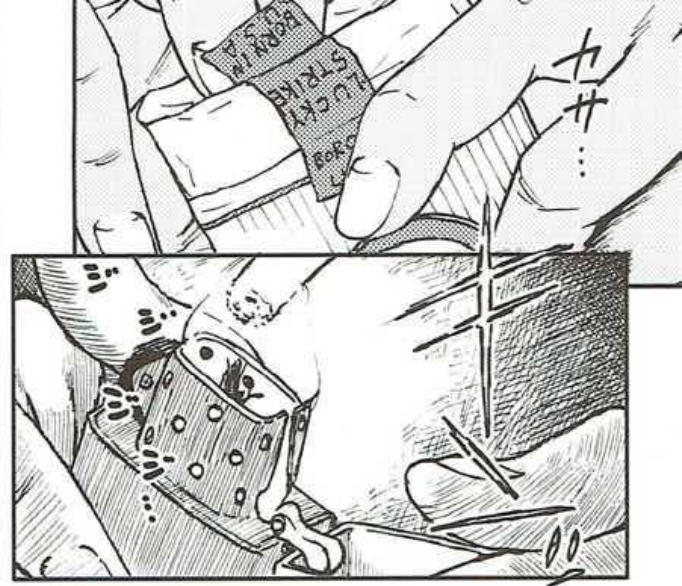
ガチャ

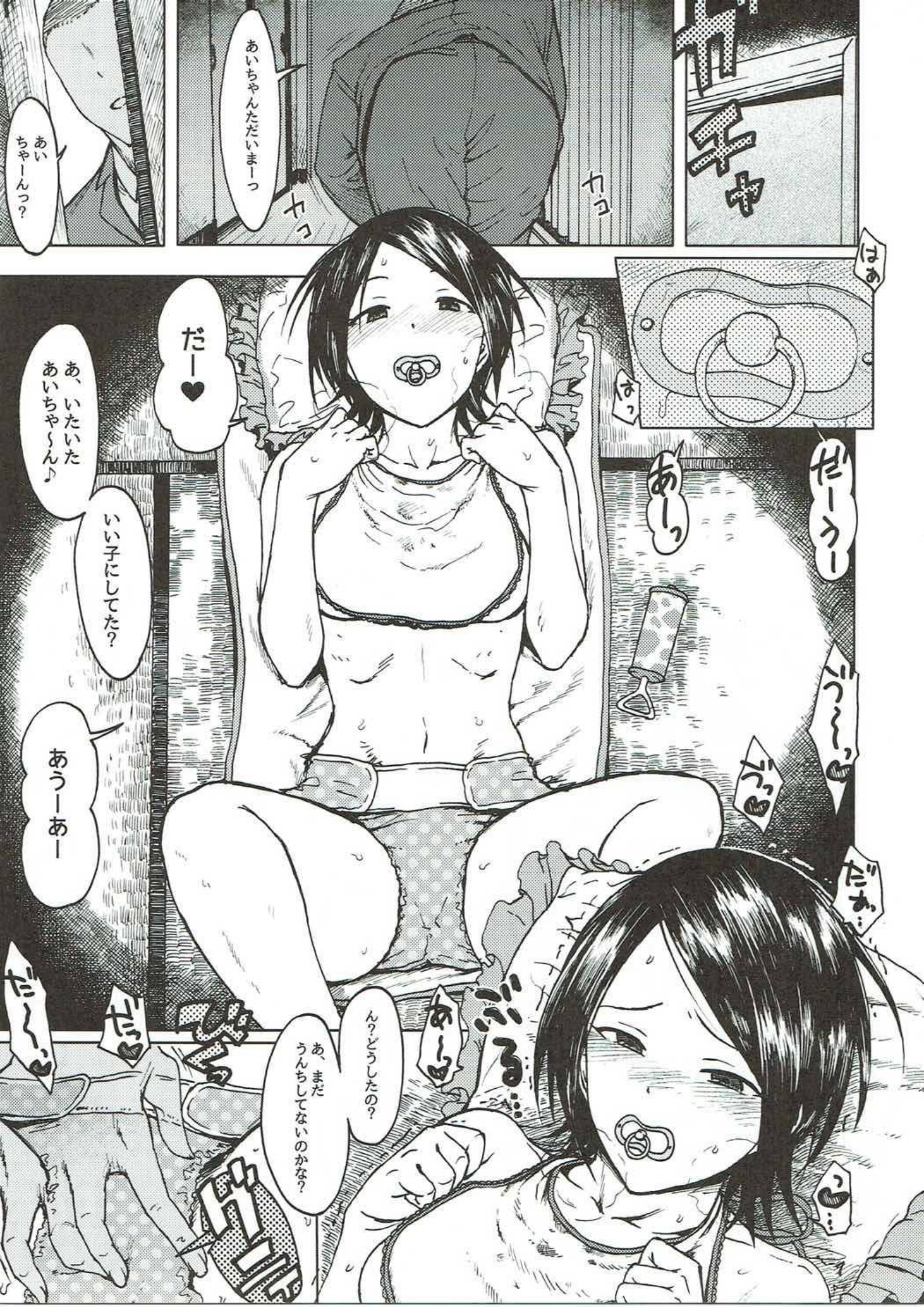


君こそご苦労だった

明日も忙しくなるだろうから
君も早く休むように

はい





あいちゃんっ？

あいちゃんたいまーっ

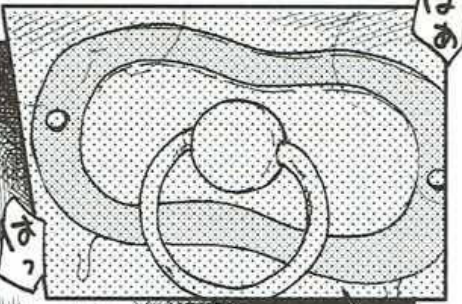
か
子
や

だー♥

あ、いたいた
あいちゃん♪

いい子にしたた？

あうーあー



あーっ

だーくー

んっ

んっ

んっ

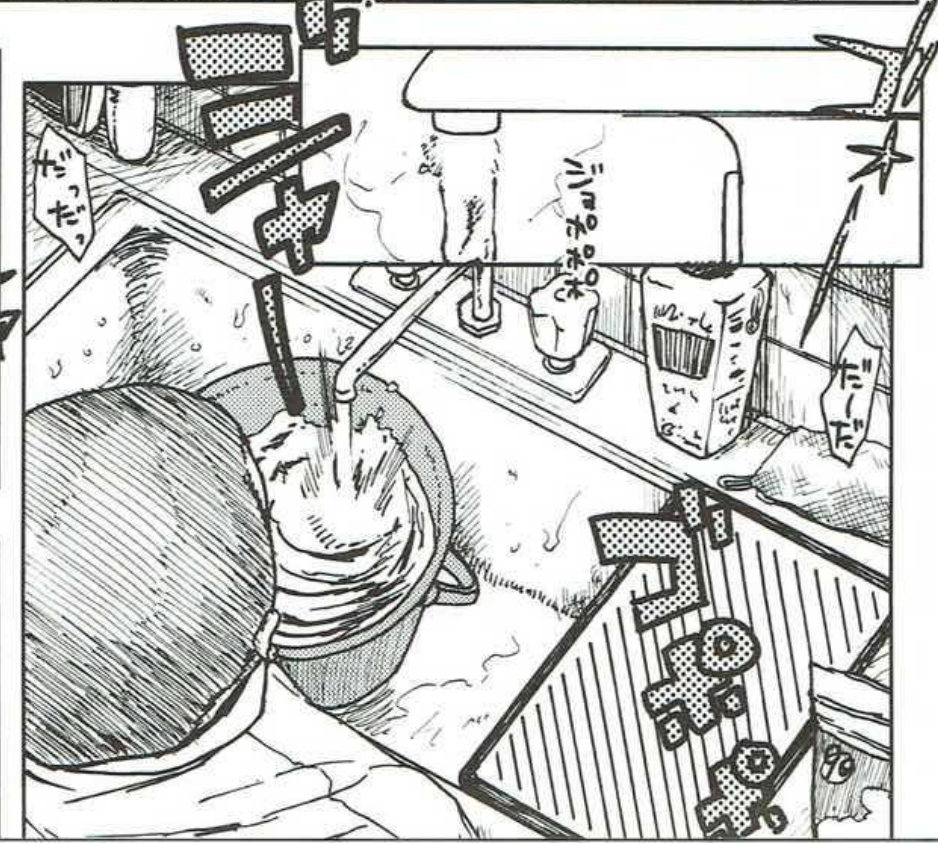
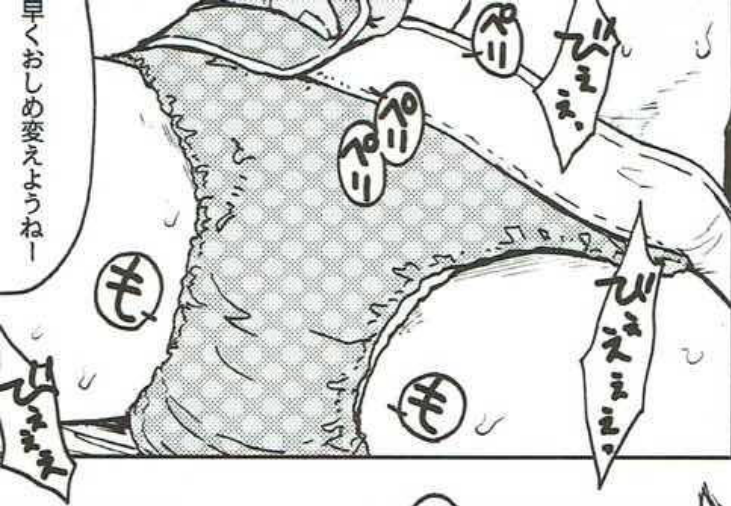
ん？どうしたの？

あ、まだ
うんちしてないのかな？

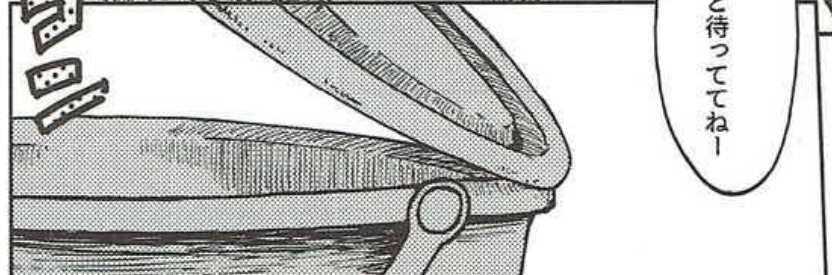
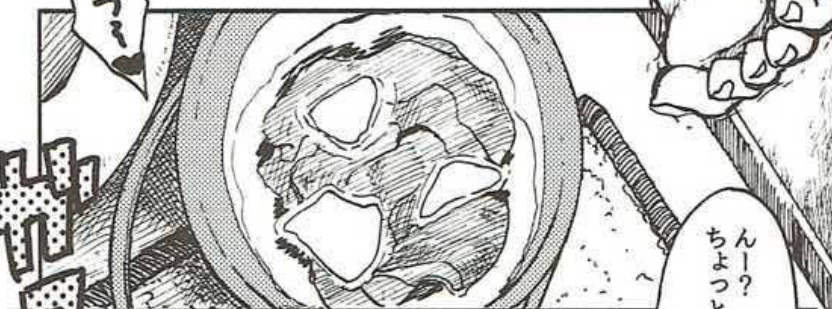
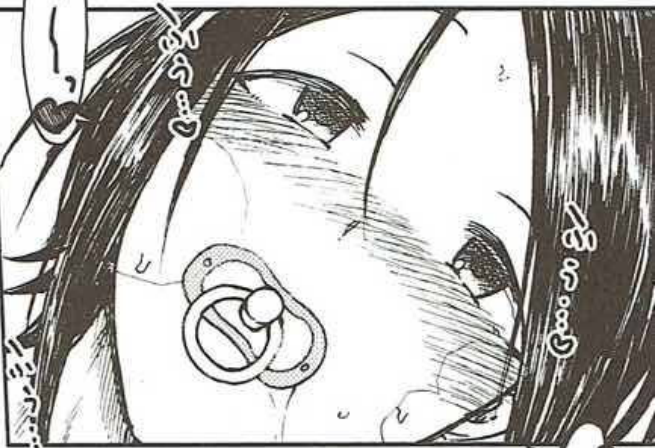
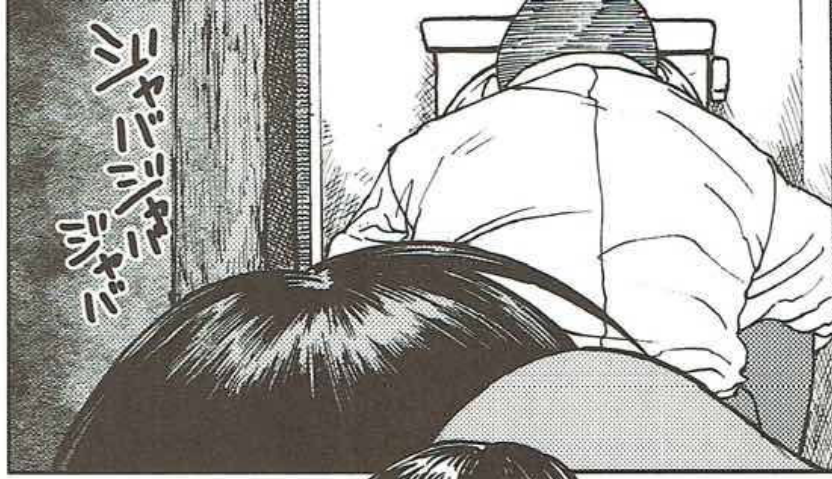
んっ

んっ

んっ

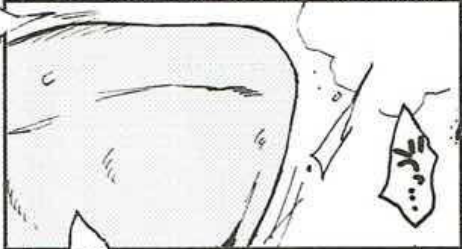
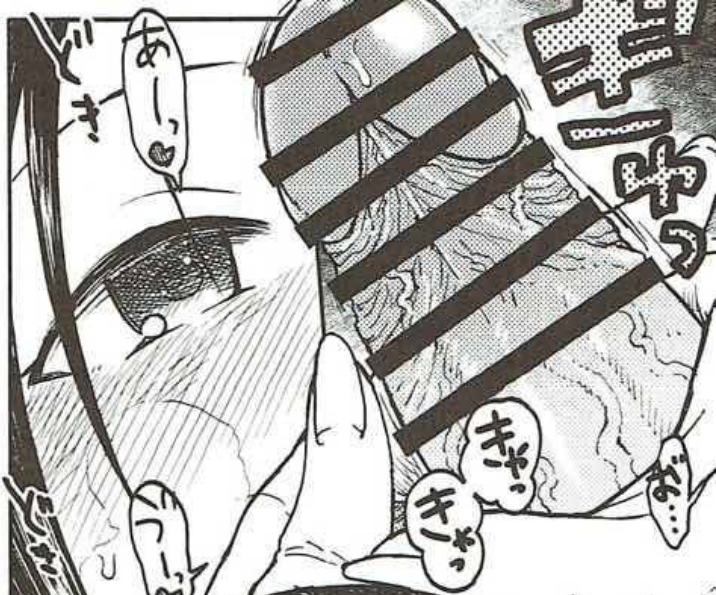
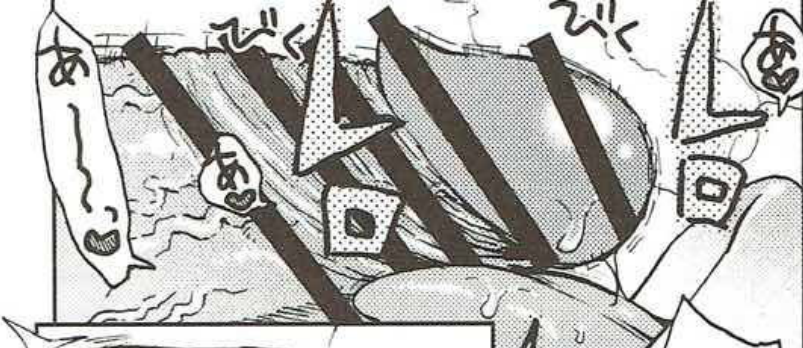




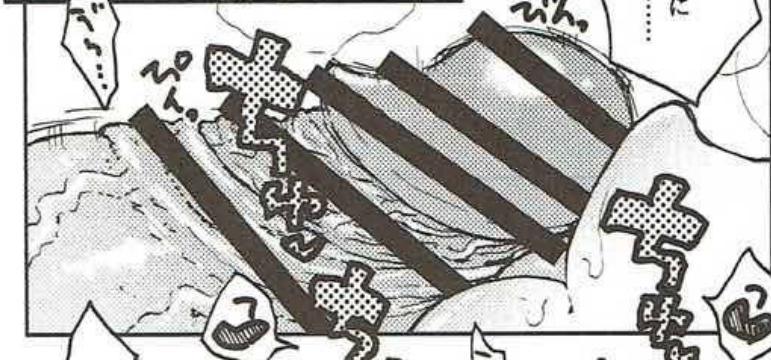


んー？
ちよつと待ってておー

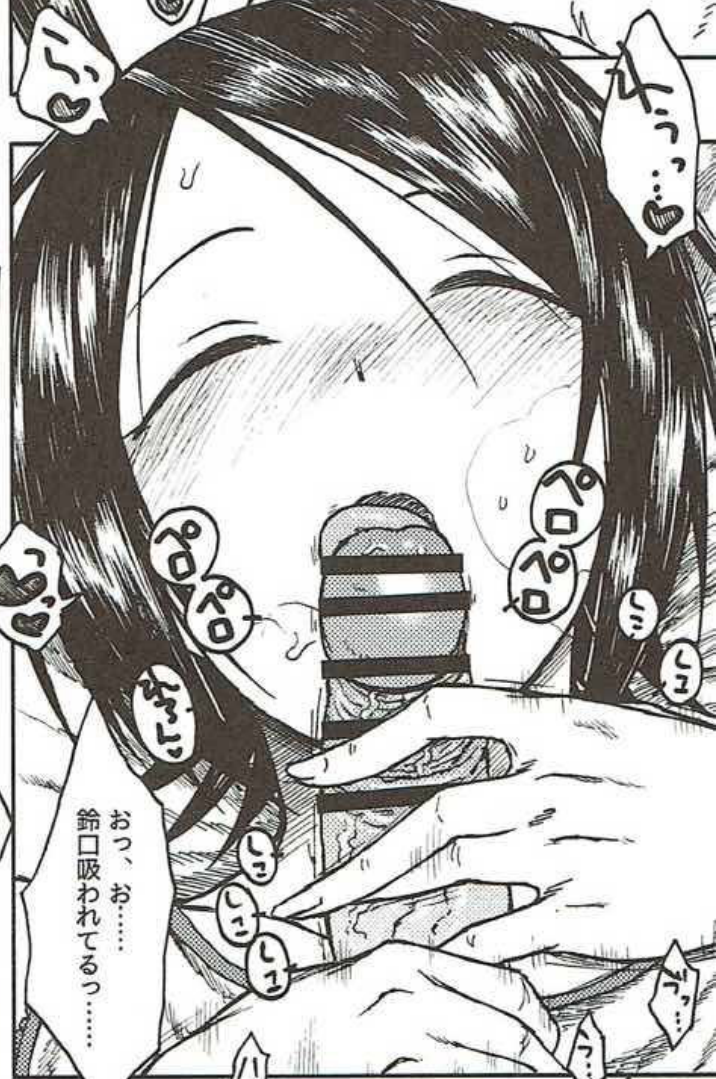
ちゅちゅ



あいちちゃんのつ
赤ちゃんのお口に
俺のおチンポっ……



一生懸命
しゃぶりついて……っ



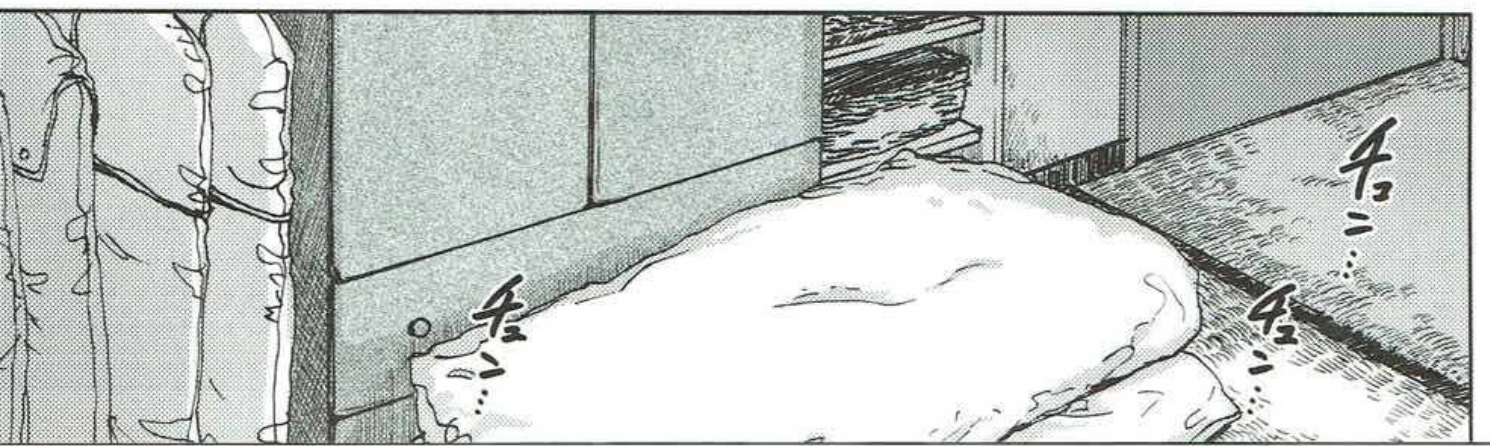
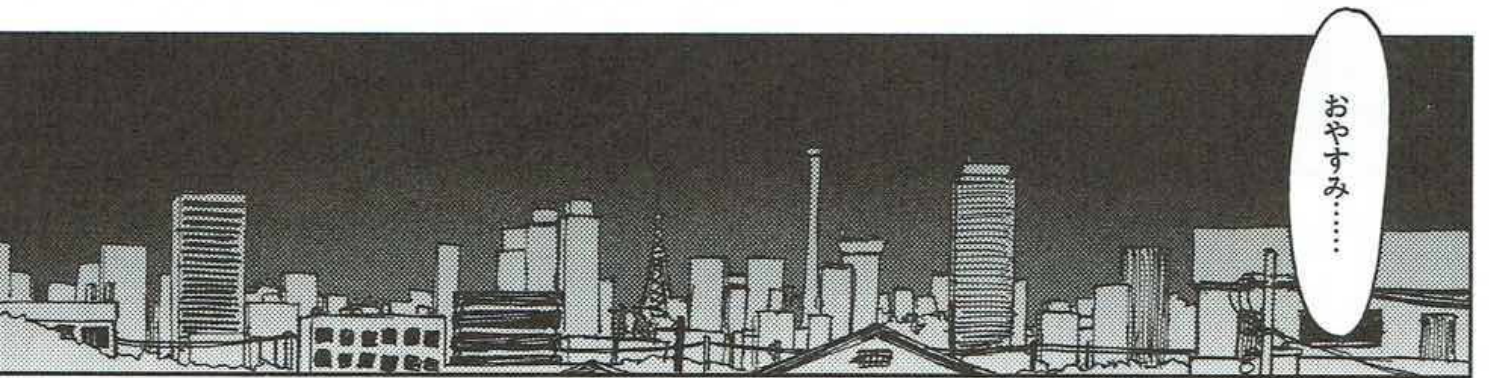
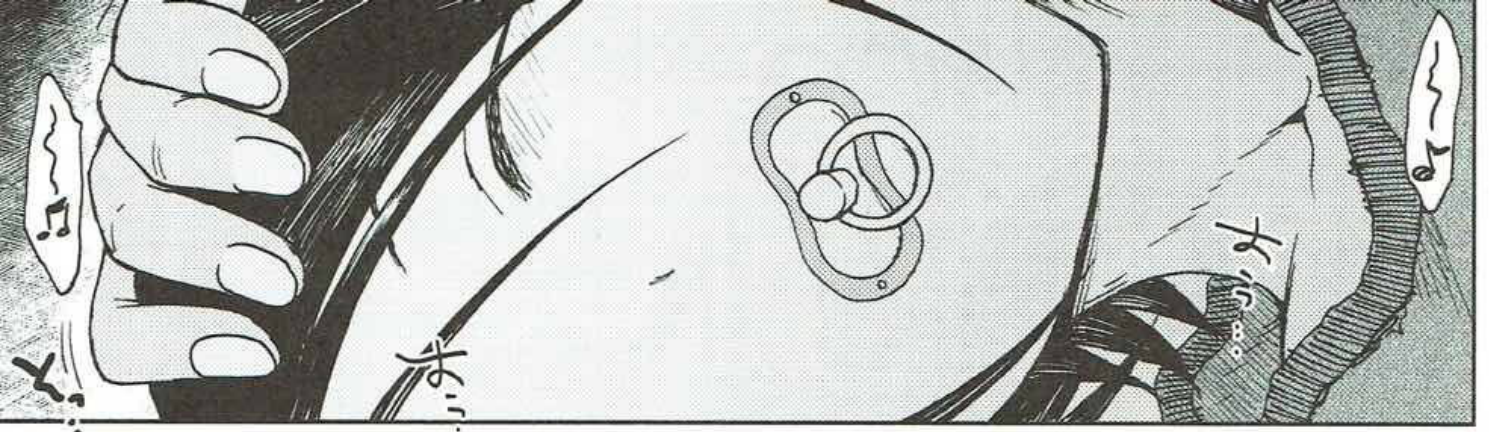
おっ、お……
鈴口吸われてるっ……



おチンポ大好きな
かわいい俺の赤ちゃんっ……

かわいいよ、あいちちゃんっ……



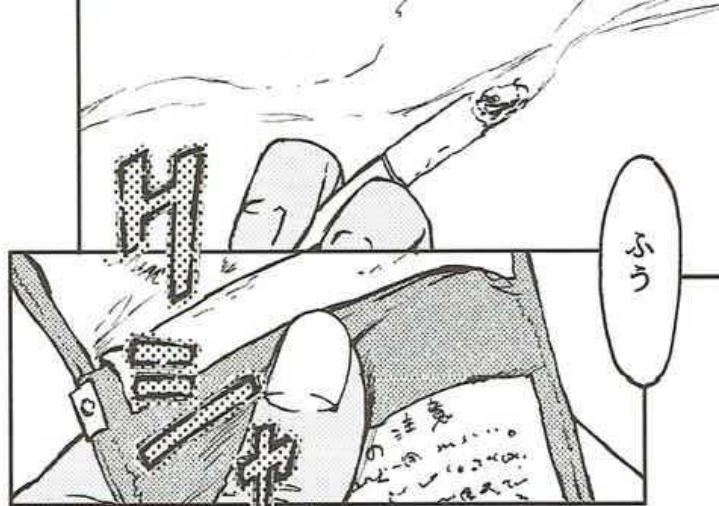




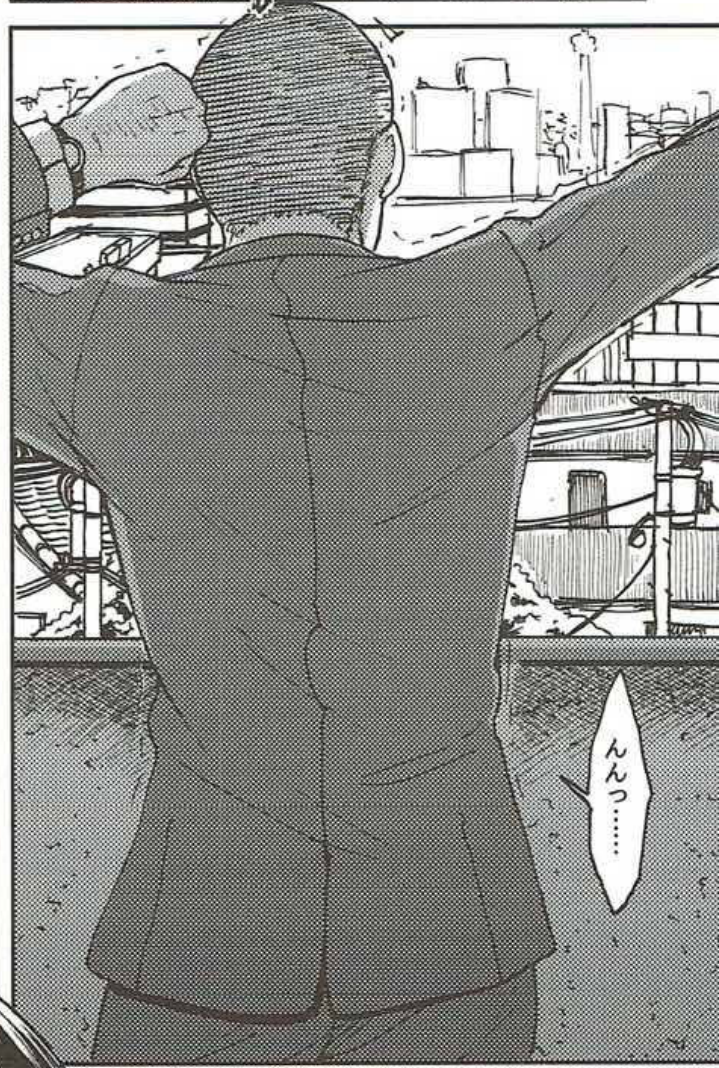
おはよう
プロデューサー

おはようございます

待たせたね
すまない



ふう



んんっ……



いつもの店で
スプラウトサンドを買って
皆に差し入れとしよう

わかりました
すぐに手配します



おや……それじゃ、
事務所に寄ろうか

早速ですが、入り時間が
1時間遅くなりました

せーすくはめびごういうの



夜与(愛知産)

さんいさんという素晴らしい同人作家様にご快諾いただき、今回の合同誌を企画させていただきました。決して弱みを握られた訳ではないです。



さんい(秋田産)

この間ついに単行本も上梓された素晴らしい商業作家様の御指示に従い今回の本に参加させて頂きました。夜与さん、吉祥寺の肉山って知ってます？

さ 何から喋っていいかなー。

夜 うーん。

さ まあとりあえずこのマンガを描いてみて、なにか…難しいなーとか楽しいなーとか。

夜 あー、そうね。

さ とりあえず『誰も見なくてもいいから』っていうコンセプトは、超難しいと思う。

夜 あー確かに。

さ もちろん普段から自分が見たいし描きたいものを描くわけだけど、最初のアイデアまでだと思うんだよね。

夜 プロットよりもっと前？

さ そうそう。で、そこから肉付けしていく作業に入ってプロット、ネームをしていく中で他人にも伝わるように描いていくわけじゃん。だから今回下書きしてる時に特に感じたよね。「こんな事していいのかなーっ」って。

夜 んふ。

さ ま、来年またやるかと言われれば…

夜 もう一回？

さ やるとしても来年の終わりだよ。夏は無いと思う。

夜 そうね。

さ ボクなんかは商業作家じゃないからアレだけど、夜与さんはホラ、こういう状況の時にサクッと描けるようになった方がいいよね？

夜 あーうーん

さ だってアンソロなんてその連続じゃん。他人にコンセプトを提示されてどんどん描けるようにしておかないといけない…

夜 そうだね。自分なんかは特にキルタイムでシチュエーションを指定されてコンセプトをバッチリ決まった状態で描かされるから…描かされるって言ったらアレだけど。

さ うっふっふ。

夜 んっふっふ。

さ そうだね。

夜 そうだね。

さ 鬼のような編集が。

夜 そう。

さ まあだから夜与さんはこういう事どんどんやっていくべきだしー。

夜 うん。

さ まあとりあえずボクと付き合ってないで。

夜 ん？

さ ちゃんとした作家と交流した方がいいよ。

夜 え、そういう話にする？

さ 夜与さんはこれ描いてみてどう？なんかあれば。

夜 そーだねえ……自分の場合は作りたいものを作ってくれてと言われて、まあコンセプト決めて描くわけじゃないですか。それが自分の好きなものなのかどうか分かんないんだよね。

さ 確定してない？

夜 確定してない。どっかで、他人の好みに合わせている所も絶対あるし、性癖を自分で出してるつもりでも「本当にこれ自分の好きな性癖なのか」ってのが常に付きまとうんですよ。

さ ホントにウンコ好きなの？

夜 ホントにウンコ好きなのってね、自分でもなるんだよね。

さ うえへへへ。

夜 好きだと思って描いてんだけど。そうやって自分を疑って描いてるから。渋谷凛好きって言っても「ホントに渋谷凛好きなの？」って自分でも思うし、他人にも言われるんだよね。

さ 黒髪ロングは好きなんじゃない？

夜 うん、それは間違いないんだよね。

さ ボクはね、描きづらいから描かない。

夜 んふふふ。

さ だって原田美世だってボクに言われなければ夜与さんだって描かないでしょ。

夜 まあね。描いてて楽しかったし、どんどん好きになっていったけど。

さ 特にボクなんかそうなんけどさ、年齢も容姿も性格もバラバラなんだよね、描いてるやつ。

夜 あー。

さ で、「この人にこういう事させたい」っていう一つが思いついたら、それに合わせて前後を考えるっていう作り方をしているから、ボクがどういう趣向なのかっていうのはボクもよく分かんない。だけど、多分だけど、ボクが好きなものって「皆の期待を裏切る事」だと思うんだよね。

夜 ……ん？他人から？
さ あ、ボクに対する皆の期待じゃなくて。
夜 あ！キャラに対する皆の期待？
さ そうそうそう。だから、アイドルマスターに関してはアイドル性はあまり重視せずに普通の女の子にリセットしてから膨らまそうとしてるんだよね。だから多分キャラの統一性が無いんだよね。

(お互いのマンガを見る)

さ このプロデューサーは汗が好きなのかな？
夜 さんい君が匂いで描いたらどう？って話を最初してたからね。
さ ボクのマンガって…今回普通じゃなくして描こうとしたじゃない？
夜 うん。
さ でも見てるとなんかね、普段のマンガになっちゃってるんだよね。で、多分普段のマンガも変なんだと思う。展開とかも。
夜 あー、展開的にはああいうマンガはあんまり無いかもね。
さ で、この夜与さんのマンガってやってる事は特殊だけど、でも普段の夜与さんのマンガになってるなーって。
夜 なってるんだよね。
さ で、ボクのマンガも変だなーと思うけど、なんか普段から変だからそんなに変わんねー気もするんだよね。
夜 あー、もっと変えたかった？
さ もっと普段描かないモノにしたかったんだけど…でもいつもの流れで内容が少し違うだけみたいなの。夜与さんと比べてみると…ボクのマンガって変なんだなって。
夜 ふっ。
さ 夜与さんのマンガってウンコしようが何しようが、流れとしては皆が見てるようなマンガっぽくなってると思うんだよ。エロ漫画としては。あとは……アレだね。まだまだチャレンジ精神足りないね。
夜 足りないね。最初、挿入シーンが入っちゃったから、それを削ったりもしたんだけど。
さ もっとプロデューサーが変態でいいんじゃない。脇汗が染み込んだティッシュを日付描いてパッケージングしてるとか。
夜 それくらいまでやっちゃって良かったか。
さ それを原田美世も気付いてるんだけど、プロデューサーの事が好きだから甘んじて受け入れるみたいなの。
夜 あー。
さ お互い気付かれないように行動しているみたいなの。
夜 うん。
さ それこそ誰が見んだよって感じだけど。
夜 まーね、そうだよ。
さ あとね、夜与さんはね、真面目なんだよ。
夜 そう……そうなんだよ……。自分でも分かってんだけどさ。
さ ふざけて面白いことやっていいですよって言われてるのに、まだまだ足りてない。まあこういう物を作り上げて出来たものを見て、次はこうしようみたいなモノに気づければ合同誌作って良かったんじゃないの。
夜 うん……。
さ やっぱりね、表紙だけでも並べてみても「ああ、全然違う作家なんだな」って気付けたでしょ？
夜 うん、本当に全然違う。

さ ボクのマンガの8ページ目にさ…ウンコ描いてんだよ。見た？ボクのウンコ。
夜 あー…はいはい。硬そうなウンコですね。
さ ウンコなんか9年ぶりに描いたよ。
夜 でも、さんい君。これまだ遠慮してるでしょ？
さ 遠慮っていうか、だって描きたくないんだもん。
夜 うーん。
さ ウンコ隠してるんだよコレ。だってウンコ自体には興味ないんだもん。ウンコしちゃった事実が好き。女の子がウンコしてる所の鼻先に顔を近づけて顔をずっと見ていたい……人、なのね？分かるかな？
夜 うーん。
さ で、そこで出たウンコ見るかっつーと見ない。
夜 見ないか。確かに性的趣向で言うとボクはウンコ好きなんだろうけど、女の子が目を背けたくなるようなモノが自分から出てる、その表情が見たいからウンコ描いてるんだよね。
さ うんうん。
夜 女の子が恥ずかしそうにしているっていう所に興奮するのは一緒なんだろうけど。ただそこでどう表現するかって事だよ。僕はその羞恥の最大級がウンコっていう。
さ それは自分がウンコ好きかどうかと言うより他人への分かりやすさ？
夜 そうだね。
さ 手段でのウンコって事です。
夜 そうです。
さ まあボクは出来ればそんなクソみたいな方法変えたほうが良いと思いますよ。
夜 んふっ、ですよ。



よっよっ...

おいおい...
いるのか美世?

あつ...やっぱり
車いじってたのか

カチヤ

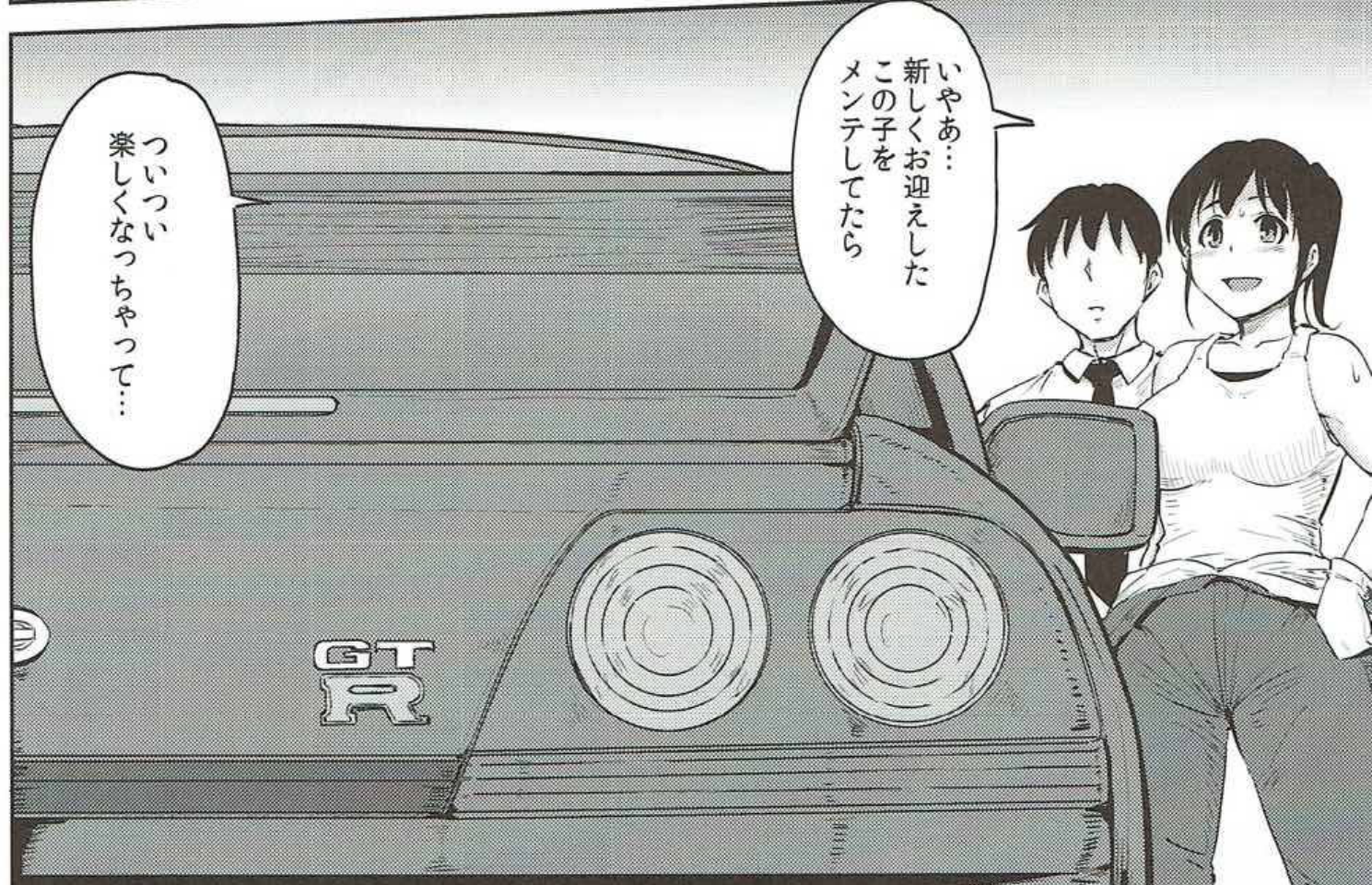
カチヤ



あれ...どうしたの?
Pさん?

ゴニッ

家に来るなら
連絡してくれれば
迎えに行ったのに





そういえば
新しい車
買ったんだな

そうなの!!
日産 R33 スカイライン
GT-R

ずっと
欲しかったんだ
このクルマ!!



あれ?
もしかして
Pさん興味ある?

ちよつと
中も見えない?

えっ…

し…しまった…
美世の
車スイッチが
入った…!!



一昔前の
スポーツカーだけど
すごくいじりがい
があるんだよね…



へえ…
スカイラインか…

カッコイイ車だな



どう？
座ってみた感想は？

うーん…
そうだな…

スポーツカーなのに
思っていたよりも
広い…かな…？



そうですね？

この
R33スカイラインは

R32よりも
ボディが大きいのが
特徴なんだよ



美世のヤツ…
汗の匂いが…

へ…へえ…

車としての
ポテンシャルは
すごく高いんだよ

車体が大きく重く
なったせいで
当時の評価はあまり
良くなかったみたいだけど

一晩中
作業してた
みたいだから…



車のことを
嬉しそうに語る
美世の横顔を
見ていたら：

が：
我慢できなくなっ：

えっ…!?

Pさんの馬鹿…

…シート



えっ…!?

シート倒すから

ちょっと待って…

あ…ああ…



本当に好きにしていいんだな…？

確認するぞ美世…？

恥ずかしいから確認しないでよ…



いい匂いだ…

ムワァ…

でも少し処理が甘いみたいだな…剃り残しがあるぞ



えっ…!? 脇…!?

それじゃ遠慮なく…



ち…違うから…!!

あたしその…濃い方だから一日剃らないとそうなるの…!!



わあ

アッ

レロ オッ

恥ずかしいから
そういうこと
言わないでよ...

美世の汗の味...
すごく美味しいよ...

な...舐めちゃ
ダメだってば...!!



ん

レロ

レロ

ん

レロ

レロ

ダメ...
わ...脇は...!!



うう…
恥ずかしい…

美世の胸…
やっぱり綺麗だ…

ぽん
ぽん



あーっ



あーっ

にゅ
にゅ

ぽん



美世の甘い匂い…
もつと嗅がせて
くれないか…?

に…匂いのこと
褒められても
嬉しくなんか…

あっ…♥
あああっ…♥

あーっ
にゅ

あーっ

にゅ



ああ...?

はあ...



美世の匂い...
たっぷり楽しませて
もらったよ

どうだ...?
気持ち良かったか?



まっ...
待って...!!

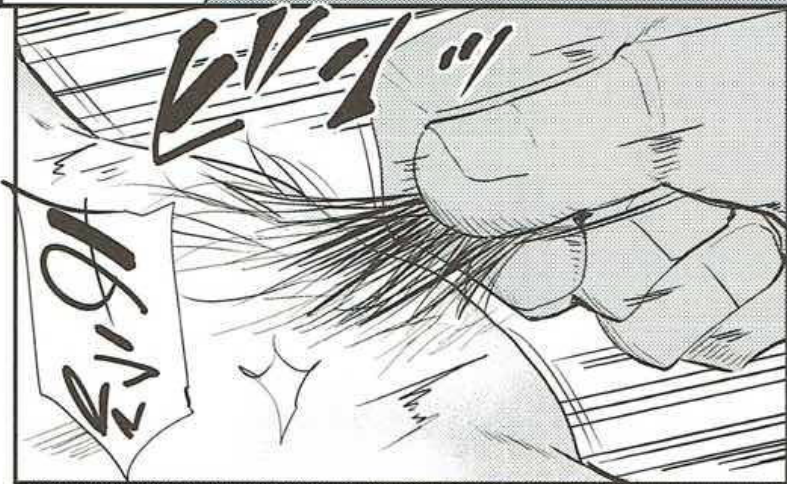
さっ...
下も見せて
もらおうかな



美世：下の毛も
メンテナンスが
甘いみたいだな

うう…
だから濃い方だって
言ってるでしょ…

そんなに
ジロジロと
見ないでよ…



こんな濃い毛を
見ていると…



引っ張りたい
引っ張りたく
なってしまう

ひっ!?
引っ張らないで…!!

あゝ

あゝ

ビュッ

ビュッ



じつとりと蒸したアソコの匂い...

びしゃるるる

びしゃるるる



き...汚いから吸っちゃダメ...

んっ...♡
んんんんっ♡

うう...ダメ...
お願いだってば...!!

びしゃるるる

ゆる



汚くなんて無い...
美世の汁なら
いくらでも飲めるさ

あんい

びしゃるるる

ゆる

あんい



でももつと
美世の恥ずかしい汁...
見せてほしい...

だいぶ濡れてきたな...



だめえ...♡
これ以上されたら
あたし...♡♡♡



だめえ...♡





あーあ…
シートまで
びっしょり…

こりやあ
掃除しないと…

とりあえず
二人とも汗かいたし
シャワーでも浴びてー

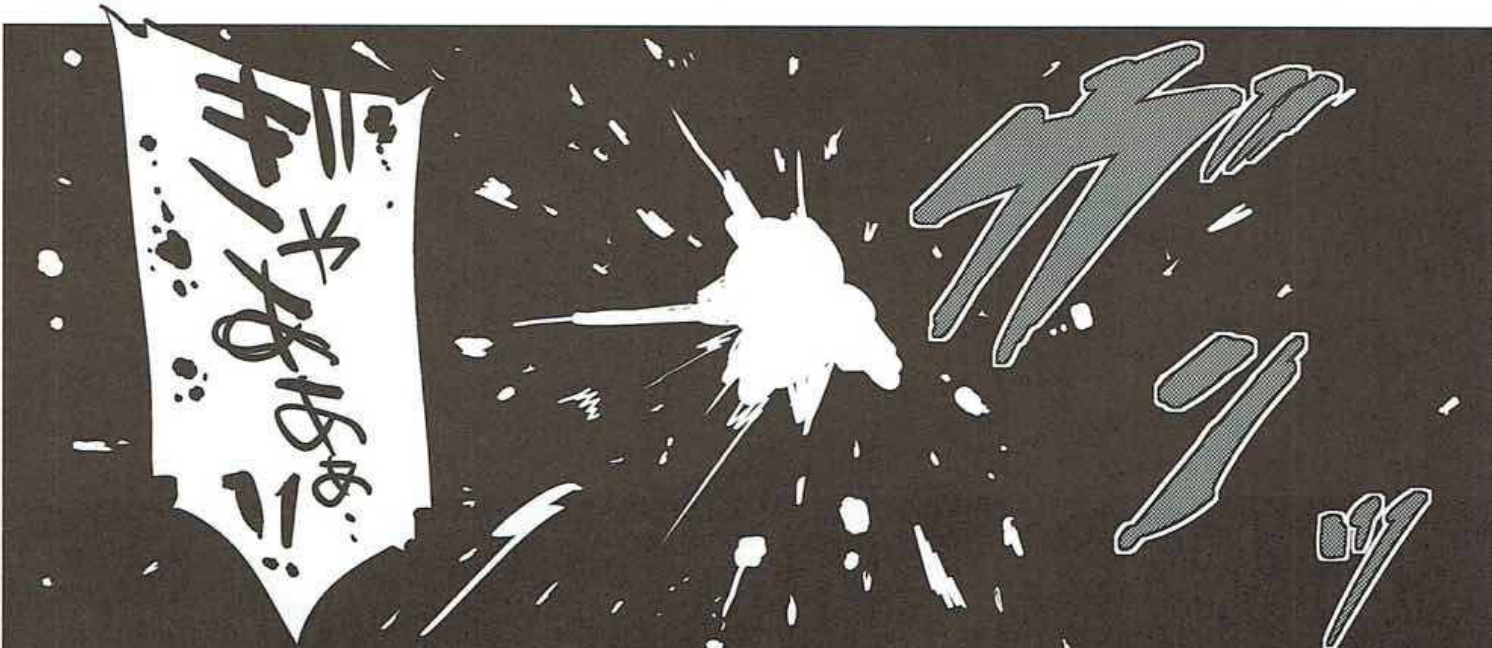


あたしのクルマ…

汚すなんて…

お…怒るなよ
美世…!!

とりあえず
そのレンチをしまつて
なっ…な…?



美世ちゃん
おめー!!

ガッ
ッ
ッ



なにがスプラウトサンドだモヤシでも食ってろ！！！！
どうもさんいです。

今回は夜与さんと合同誌、ということで、もう言い始めてから2年くらい経ってますが東郷あいさん本を出すにあたり「他に巻き添え食らわすヤツが必要だ」となりまして、とりあえず人畜無害の夜与さんと組むことにしました。コイツはどういうヤツかと言うと、お互いの趣味が釣りであり、とにかく人と絡むより一人で何かのんびりしていることに無性にヨロコビを感じる人間である、というクソダメな人間同士であり、作家の友達も少なく、華やかな出版業界、同人界隈に対してギリギリと歯を食いしばりつつもカウパー汁をダラダラと流し続ける、そんなキーモチワルイ人たちののです。なんだよこっち見んじゃねーよ。仲良く友達ごっこなんてやってられっかよ。お前実は嫌われているぞ？(嫌われる人の台頭)

こんなボクたちですが、いやこんなボクたちだからこそ真の平等な友達関係を築けているのかもしれない。ボくら、江ノ島まで旅行にも行ったんですよ。このクソデブと。客観視してもどういう関係なのか全く予想が付きません。ボクの夢は彼女や嫁さんを作って温泉旅行に行くことなんです。31年間叶っていません。どうしてこのデブとは容易くそういった旅行にも行けてしまうのか、わかりません、きっと彼が生きている事自体が、ボクのカルマをより悪鬼羅刹な非道へと導いてしまうのでしょうか。

とにかく、こんなウンチ共の本を買って頂き、こんなウンチな後書きおよび対談を見て頂き感謝しております。そして、この本と一緒に作ってくれた夜与さんへも感謝の意味をこめて

くたばれ！！ みりおんらぶ。

ありがとうございました。

発行 : みりおんらぶ&エス書店
 発行人: 夜与、さんい (3e)
 連絡先: tokyosexdestruct@infoseek.jp
 発行日: 2016年12月31日
 印刷所: マツモトコミックサービス様

Title:
 Susumu Hirasawa
 jardin Hotel

未成年の購読・閲覧を禁止しております。

あとがき

どうもこんにちは、夜与です。

読んでいただき
ありがとうございます。

『好きなものを描く』

好き…好きってなんでしょう。

自分にはよく分かりませんが、

とりあえずエス書店のことは
~~嫌~~いで。

カーセックスは
禁止だよ



※そんなエス書店の漫画は

「裏表紙から」逆向きで始まります。
ご注意ください。

奥付

発行日:2016/12/31

発行サークル:みりおんらぶ&エス書店

発行者:夜与、さんい

連絡先:yayoyayo325@gmail.com

印刷製本:マツモトコミックサービス

18歳未満の閲覧及び購入を禁じます

ハーレム ホテル

-Jardin Hotel-

みりおんらび



DOJIN
R18
成人向け